

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	重度身体障害者移動支援事業(地域生活支援事業)			事業コード	0388
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課		担当係名	
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	高谷 悠	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	理解と交流の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 地域生活支援事業(004-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 H8年度～)					
事務事業の概要	在宅の重度身体障害者の移動を容易にするため、福祉車両により送迎サービスを行うもの。					
根拠法令等	障害者自立支援法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
障害者の社会参加を促す機運が高まり、平成8年から社会福祉協議会に委託により実施。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
目的を通院等に限定しているが、他の目的でも利用したい。介助者がつかない場合は利用できないことになっているが、一人暮らし或いは介助者がついていけない状況でも利用できないかという要望が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
重度の身体障害者は増加傾向にあり、必要性は増している。ただし、総合病院の受診には時間がかかり、半日以上かかることもあるため、利用件数は限られている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	車いす等を利用している在宅の重度障害者(介助者が同行できる方)で事業の利用登録をしている方。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 利用登録者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡市社会福祉協議会に委託し、「おでかけ送迎サービス」として実施。通院・入退院時(月2回以内)に利用できる。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 今年度も同様に実施し、有効活用するように周知に努める。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 利用件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	車いすやストレッチャーを利用しているため、一般の交通手段の利用が困難な重度障害者の移動支援を行い通院などを容易にする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 利用件数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	件
				B. 利用実人数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	理解と交流が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合(単位:%) 障がい者アンケート調査「障がい者に対する市民の理解が進んだ」と答えた割合(単位:%)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 公共交通機関を利用することができない重度障害者は、移動のための経費負担が大きく、外出機会が減少している。通院のための移動支援を行うことは、外出及び社会参加の促進に大きく寄与している。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: ボランティアが運転しているため人件費は少ないが、車両の維持管理等に必要な経費があり、営利では実施できない事業である。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 車いすを利用する重度障害者で公共交通機関を利用できない方を対象としているため妥当である。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現状の委託費の範囲では、車両数や運転者の確保などから判断して妥当である。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 午後の利用が少ないので、サービスの存在を周知することにより利用者を増やすことが可能である。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 利用者の通院交通費の増大から受診を回避したり、費用の負担増により他の社会参加の機会が失われる可能性がある。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 運転手はボランティアであり、経費のほとんどが車両の維持管理費であり、削減の余地はない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 委託により事業を行っており、管理事務のみである。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 基準を定め、利用回数なども決められており、公平に運営されている。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公共交通機関が使えない重度の障害者に対する通院手段の支援であり、利用回数も制限されており、本人から負担を求めることは目的にそぐわない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 運行はボランティアが担っており、最低限の経費で実施されているが、車椅子の利用者にとって非常に有益な事業となっている。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ボランティアの資質向上のため、社会福祉協議会の主催する運転技術講習ほかの研修に参加し、研修内容が適正であることを確認した。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>障害者自立支援法施行以前から、公共交通機関を利用できない重度障がい者の移動支援を、ボランティアの協力によって実施してきており、障がい者の社会参加の一助となっている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業の周知により比較的使用が少ない午後の時間帯の利用を促進する。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									